

## 当院における終末期悪性中皮腫患者の検討

## 1、研究の目的と意義

悪性中皮腫は主に胸膜に発生する悪性腫瘍で、アスベストの曝露との関連性が指摘されています。本邦での年間の死亡者数は500人（1995年）から1,605人（2020年）と増加傾向にあり、発生ピークは2030年と予測されています。近年、手術や化学療法といった治療に関するエビデンスは少しずつ構築されていますが、緩和ケアの分野、特に本邦における終末期のデータは十分とはいえません。当院は緩和ケア病棟を有する後方病院として高次医療機関から終末期患者の受け入れを行っており、比較的稀な中皮腫症例を経験する機会が少なくありません。本研究は積極的治療終了後の診療情報を調査することで、我々の地域における悪性中皮腫の終末期の実情を把握することを目的とします。これにより悪性中皮腫の患者さん及びそのご家族へより正確な情報をお伝えできる意義があると考えます。

## 2、対象となる患者さん

本研究の対象は、2017年4月1日から2023年6月30日までの期間に当院で亡くなった悪性中皮腫の患者さんです。

## 3、研究の方法

本研究は、悪性中皮腫の患者さんを対象として積極的治療終了後の予後について後方視的検討を行います。また終末期の症状、転移状況、オピオイドを含む緩和治療の内容、労災取得率等について調査を行います。

## 4、研究に用いる試料・情報

- 患者背景：年齢、性別、合併症、組織型（臓器）、ステージ、遠隔転移の有無、基幹病院初診/終診日、抗癌剤初回投与/最終投与日、使用レジメン、当院初診日、紹介経路、当院入院回数、入院期間、死亡日
- 自覚症状、他覚所見
- 画像所見（レントゲン、CT、MRI等）
- 血液検査所見
- 併用薬、オピオイドの種類・使用量

## 5、研究期間

研究機関長の許可日～2024年8月31日

## 6、外部への試料・情報の提供

該当なし

## 7、研究実施体制

この研究は千住病院のみで実施する研究です。

研究責任医師： 特定医療法人 雄博会 千住病院 呼吸器内科・緩和ケア科 千住 博明

## 8.お問い合わせ先

特定医療法人 雄博会 千住病院 呼吸器内科・緩和ケア科 千住 博明

住所：長崎県佐世保市宮地町 5-5 電話：0956-24-1010（総合受付）

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

千住病院 患者相談窓口（受付時間：月～金 9：00～17：00（祝・祭日除く））

住所：長崎県佐世保市宮地町 5-5 電話：0956-24-1010